

**Last wake up call!!**

**(目を覚ませ! 次はない)**

# 米国ハリケーン・サンディ

～先進国の大都市を初めて襲った  
ニューヨーク都市圏大水害からの教訓を知る～

## 調査団 緊急報告会 in 大阪

**参加費無料**

先着150名様になり  
次第受付終了。  
大学への届け出も  
あって事前登録が  
必須です

開催日時 平成25年7月3日(水) 13時～18時 開場12時40分

会場 関西大学高槻ミュージズキャンパス M602教室

〒100-0005 大阪府高槻市白梅7-1

JR高槻駅 徒歩7分 阪急 高槻市駅 徒歩10分

[http://www.kansai-u.ac.jp/Fc\\_ss/access.html](http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/access.html)

### 報告者(予定)

上総周平 国交省国土技術政策総合研究所長(団長)

河田恵昭 関西大学社会安全学部教授(団長)

林 春男 京都大学防災研究所巨大災害研究センター教授

田村圭子 新潟大学危機管理室教授

関 克己 京都大学経営管理学部客員教授

渡辺研司 名古屋工業大学リスクマネジメントセンター教授

安田誠宏 京都大学防災研究所沿岸災害研究分野助教

松尾一郎 CeMI環境・防災研究所 副所長

安田吾郎 国交省総合政策局国際建設管理官

井上智夫 国交省水管理・国土保全局河川計画課国際室長

運上茂樹 国土技術政策総合研究所地震災害研究官(当時)

(独)土木研究所構造物メンテナンス研究センター耐震研究監(現在)

伊藤弘之 国交省国土技術政策総合研究所水害研究室長

間瀬利明 同上 地震防災研究室 主任研究官

高橋賢一 国交省気象庁予報部予報課予報官(当時)

同上 地震火山部管理課調査官(現在)

**主催:ハリケーンサンディ合同調査団 (国土交通省・防災関連学会)、関西大学**

注)防災関連学会とは、土木学会、日本災害情報学会、地域安全学会、日本自然災害学会を指します。

# 米国ハリケーン・サンディ調査団緊急報告会 in 大阪 概要

## 開催趣旨

2012年10月29日、アメリカ合衆国ニュージャージー州に上陸したハリケーン・サンディは、大都市であるニューヨークを直撃し、地下鉄や地下空間への浸水をはじめ、交通機関の麻痺、ビジネス活動の停止を通じて経済・社会活動に影響を与えるなど、近年発生した災害の中でも極めて甚大な被害をもたらしました。現在、米国では大規模な被災と再度災害防止の観点から、災害対応の体制見直しや根本的な治水対策の見直しを進めているところです。

三大都市圏のゼロメートル地帯に都市機能を抱える我が国としては、今回のハリケーン・サンディによる災害を詳細に調査し、教訓とすることを目的とし、国土交通省・防災関連学会合同の調査団を派遣しました。

この報告会は、調査団メンバーが調査で得た知見を報告し、共有する場として開催するものです。奮ってご参加ください。

## プログラム

12時40分 開場

13時00分 挨拶

13時05分～15時45分 報告会

上総周平団長、安田吾郎、井上智夫、安田誠宏、運上茂樹、伊藤弘之、間瀬利明、高橋賢一

15時55分～17時55分 パネル討論

テーマ 我が国にどう活かす?(仮題)

パネリスト 河田恵昭、林春男、関克己、田村圭子、渡辺研司

コーディネータ 松尾一郎

18時00分 閉会

※プログラムは予告なく変更となる可能性があります。

## ハリケーン・サンディ調査団 緊急報告会 in 大阪 FAX申込みシート

# FAX: 03-3359-7987

FAX送信後、TEL:03-3359-7971までご連絡をお願いします。(平日10:00～18:00)

申込締切／6月21日(金) ただし定員になり次第締め切ります。

◆下記にご記入の上、FAXにてお申込みください。

◆複数人でご参加の場合記入してください。

代表者住所	〒			氏名	メールアドレス	役職
	-----			1 仮りがな( )		
代表者氏名	仮りがな			2 仮りがな( )		
職業		性別	男女	3 仮りがな( )		
Email		年齢	歳	4 仮りがな( )		
TEL		FAX		5 仮りがな( )		

## ◆お申込み先及びお問い合わせ

特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構 サンディ報告会事務局

TEL: 03-3359-7971 FAX: 03-3359-7987 E-MAIL: sandy@npo-cemi.com

※お預かりした個人情報は、「米国ハリケーン・サンディ調査団報告会」の運営の目的のみ利用いたします。